

あくせす news

第 177 号
2017年 3月 14日
発行者
呉市医師会病院
地域医療福祉連携室
あくせす



萌芽の候、少しずつ寒さもゆるみ、やわらかな春の日差しがうれしい季節になりました。桜の便りもすぐそこまで届いているようです。先生方にはいつも **あくせす** をご利用いただき、ありがとうございます。今後とも一層のご利用・ご紹介をよろしくお願いいたします。

肛門内圧測定装置 の紹介

Starlet ano (12ch)

肛門内圧検査とは、**肛門に力を入れない時(最大静止圧)や力いっぱい締めた時(最大静止圧)の肛門の閉まる強さを測定する検査** です。

このたび肛門内圧測定機器を1chから12chに更新しました。これにより、**①測定時間の短縮：30分から5分へ** **②患者さんの負担の軽減：一度挿入したら、検査項目を多くしてもセンサーの出し入れが不要** **③検査結果の正確性：1chでは、ある程度手技の習得が必要であるが、12chでは、検者による差が出にくい** など、より質の高い検査を行うことが可能になりました。

対象の患者さんがおられましたら、大腸肛門病センターへご紹介をお願いします。
大腸肛門病センター 藤森 正彦 (副センター長)



【対象症状】 排便障害または肛門括約筋不全

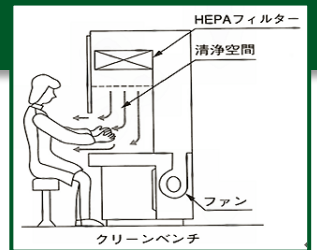
- ・ガスが漏れる、便が漏れるなど肛門の締めりが悪いとき
- ・残便感や排便困難を訴えるとき
- ・直腸痛があり便が出にくいとき
- ・肛門の変形や産後など括約筋損傷が疑われるとき
- ・肛門異臭症や肛門神経症で肛門の緩さが気になるとき
- ・痔核・裂肛・痔瘻などで便の出にくさを訴えるとき
- ・肛門狭窄があり排便困難のあるとき
- ・裂肛や痔瘻の術後機能障害が疑われるとき

クリーンベンチ を導入しました

このたび当院にクリーンベンチを導入いたしました。

クリーンベンチとは、**外部の雑菌が装置内に入ることを防ぎ無菌状態で作業するための装置** であり、医薬品分野では微生物の培養、細胞培養、医薬品の調整に用いられています。当科ではTPN(total parenteral nutrition 完全静脈栄養法)に用いる高カロリー輸液の調整を行います。

(TPN液は微生物の栄養源となり得る上に時間をかけて投与されるため、時間経過と共に輸液中で細菌や真菌などの微生物が増殖してしまう可能性があり、輸液調製時の汚染防止に留意する必要があります)



また診療報酬上では、無菌環境 (クリーンベンチ等) で無菌化した器具を使用して無菌的な調製を行うことで 無菌製剤処理料が算定出来ます。

当科ではこれからも院内各種スタッフと協力して業務を行い、薬物療法の面から患者さんに安全安心でより適切な医療の提供に努めて参りますので、ご指導ご支援宜しくお願い申し上げます。

薬剤科 先森 満子 (薬局長)

★2月1日～2月28日★

※届出日数(地域包括ケア病棟、障害者病棟等を除く)

| 平均入院患者数 | 平均病床利用率 | 平均在院日数※ | 紹介外来患者数 | 医療相談件数 |
|---------|---------|---------|---------|--------|
| 127.5 人 | 61.5% | 17.6 日 | 79 人 | 141 件 |



Zoom up

大腸CT検査 CTコロノグラフィー

大腸CT検査（CTコロノグラフィー：CTC）は内視鏡を使わない新しい大腸検査です。大腸を炭酸ガスで拡張させて、背臥位、腹臥位の2体位でCT撮影を行い、大腸解析が可能な専用ワークステーションで大腸3次元画像を作成して観察・診断する検査です。

■CTCの長所と短所

| 長 所 | 短 所 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 短時間で検査が終了（15分程度） 苦痛が少ない（CTでの体外からの撮影） | <ul style="list-style-type: none"> 病変の色や硬さの情報得不到 |
| <ul style="list-style-type: none"> 大腸内視鏡挿入困難な場合でも検査可能 大腸穿孔や出血など合併症が極めて稀 | <ul style="list-style-type: none"> 組織検査ができない、検査時に治療ができない（異常が発見されたら大腸内視鏡を受けることが必要） |
| <ul style="list-style-type: none"> 3次元的に観察できるため、大腸の全体像や病変の形状を正確に把握することが可能 | <ul style="list-style-type: none"> 検査時に被爆を伴う（当院は最新鋭80列マルチスライスCTのため被爆線量は低減されています） 前処置が不十分だと正確な検査が困難 |
| <ul style="list-style-type: none"> 大腸以外の腹部臓器の情報が得られる | <ul style="list-style-type: none"> 平坦な病変や小さなポリープなどの病変が検出しにくい |

■CTCの前処置について

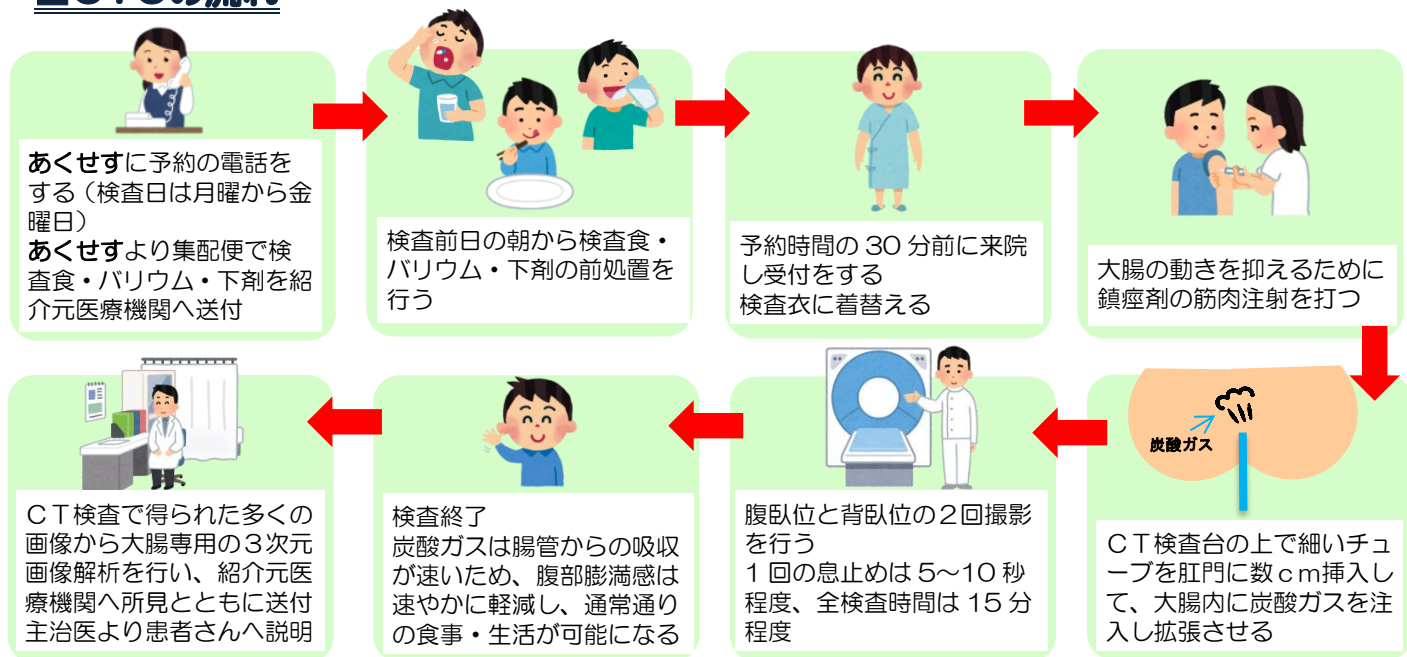
検査前日の朝食から検査食を食べ、少量の*大腸CT用経口造影剤（バリウム）を3回に分けて飲んでいただきます。また、検査前日夜と当日朝に下剤（内服・座薬）を使用していただきます。

※食事と共に経口からバリウムを服用することにより、腸管内の便に硫酸バリウムが混ざり、CTの画像上で腸管・病変と残渣の区別が可能になります。

■CTCの検査料金

特殊外来（検査外来）で**3割負担**の場合
※造影剤使用無し
検査料（薬剤料込）+検査食（¥1,500）
＝患者負担額 約¥10,000

■CTCの流れ



◆◆◆ 関係医師懇談会のご案内 ◆◆◆

◆演題

「さあ、大腸CT検査をはじめよう」

講師 笹井 信也 先生（岡山画像診断センター 副院長）

◆日時/場所

平成29年3月28日（火）19:00～ 呉市医師会館4階 視聴覚教室

※今回は軽食（カレー）を準備いたしませんのでご了承下さい。

お知らせ

呉市医師会病院 地域医療福祉連携室 あくせす

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通) 院長 中塚 博文 室長 中間 千穂 事務 中野 浩美 事務 森本 美徳
FAX (0823) 32-7507 看護師長 方岡 直美 MSW 森下 香織 MSW 菅原 淳子

